

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
家庭支援論 Home Support Theory		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(保育士養成課程必修)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
子どもを育てる環境としての家庭の役割と現代の諸問題を理解し、保育士として必要な子育て家庭支援を実践的に学ぶ。				
授業の目標				
①家庭が抱える様々な問題を知り、解決策を考える態度を身につけるようにする。 ②家庭が抱える様々な問題に対応できるようにする。 ③外国の子育てを知り、比較検討できるようにする。 ④関係機関との連携についての具体的方法や内容を理解できるようにする。				
授業の方法				
基本的には、パワーポイントを中心とした講義形式で行うが、「調べる・考える学習」を重視した授業展開として、発表やディスカッションも取り入れる。また、実際の事例を通して家庭における様々な問題とその解決方法を実践的に考えていけるよう進めていく。				
学習の成果（学習成果）				
①家族・家庭が抱える諸問題について理解し、その解決に向けて関係機関との連携も含めた具体的対策の提示ができる。 ②家庭支援の方法を検討し、支援方法を提案できる。 ③専門性に基づいて他者と協調して社会に貢献することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の内容・進め方・評価の方法）短大における子育て支援			
第2回目	子育てと家族・家庭（家族の類型、ジェノグラム）			
第3回目	家族・家庭モデルの変容			
第4回目	家族・家庭機能の変容 家族・家庭支援の必要性①			
第5回目	家族・家庭支援の必要性② 育児不安について			
第6回目	子育てをめぐる問題①（子育て意識の変化・子育て困難のさまざま）			

第7回目	子育てをめぐる問題②（子育て家庭を取り巻く社会環境の変化）
第8回目	子育て家庭支援のあり方（援助の実際から学ぶ）小テスト
第9回目	男女共同参画社会とワークライフバランス
第10回目	子育て家庭支援の政策動向と展望①（子育て家庭を支援する具体的な制度）
第11回目	子育て家庭支援の政策動向と展望②（子育て家庭支援の政策動向）
第12回目	特別なニーズを持つ家族と援助①（虐待）
第13回目	特別なニーズを持つ家族と援助②（気になる子）
第14回目	世界の子育てと支援制度（北欧）
第15回目	子育て支援サービスの課題 保護者との関係づくりへの支援（具体的な実践を踏まえ支援の展開）
事前・事後学習	配布資料を十分に読み込むこと。また、日常的に新聞やニュースなどで保育や子育て支援に関わるトピックスに注目し、時事に関する関心を高めてほしい。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	15%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート	15%	授業の内容を分析した上で、自分の考えを展開することが求められる。（詳細は授業内で説明する）
調査報告書		
小テスト	20%	8回目に実施（詳細は授業内で説明する）
試験	50%	設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び資料等に書かれている範囲を超え、自己の考え方も示されている。（詳細は授業内で説明する）
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

授業内で適宜資料を配布する。

履修上の留意点・ルール

意欲的、積極的に学習課題に取り組むこと。遅刻厳禁。